

民報

あばしり

NO.1068

2016.5.15

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三・四四五八
F 四三・四四五七



「核兵器廃絶」の声響く



駅まで行進しました。9日は、網走市役所、市議会、教育委員会でもペナントにサインをいただき、大空町、美幌町をまわり北見に引き継ぎをしました。

自民党改憲草案に危機感つめる

5月3日エコーセンターで第3回となる「日本国憲法を読む会」が行われました。「平和憲法を守る会」や「新日本婦人の会」、「年金者組合」などでつくる実行委員会は今回、憲法と自民党改憲草案の大きく変更されようとする条文を読み比べました。

3名の提案者から大きく変わる前文、9条、基本的人権にかかわる条文、新設の緊急事態条項についての問題提起がされた後、自由に話し合いました。

参加者から「不戦の誓いとともに、主権は国民にあるという宣言も削除される。自助、共助が求められる。国民には国家への貢献が求められる。」「言葉のトリックでだまされそうです。」「多くの市民に知らせる事が必要だね」と真剣に読み込んで話し合っていました。



2016年原水爆禁止 国民平和
大行進網走コースが、8日午後2時に出発しました。今年の通し行進者は、宮城県多賀城市から木伏（きふし）研一さん（64歳）で、網走から札幌を経由し青森、岩手、宮城、福島、茨城をまわり東京まで3ヶ月間にわたり行進します。

行進前に各団体から「核兵器廃絶、原発ゼロ、安倍暴走政治許すな」など、原発ゼロ、安倍暴走政治許すななど、ドリレートークがありました。また、木伏さんの元同僚が宮城から駆け付け「元気に頑張って歩いてください」と、激励のあいさつがあり、参加者から歓声が上がりました。

木伏さんは「初めて通し行進をするので不安ですが、子どもや孫たちのため、平和で暮らせる社会を引き継ぎたい。その思いを多くの人に伝えるため歩き続けます」と決意表明がありました。

行進はエコーセンター前から網走

松浦奮戦も

日本共産党北見地区委員会は、5月21日に北見市芸術文化ホールで日本共産党演説会を行います。

参議院選挙まで1カ月という段階で開催される演説会は、安倍政権を退場させ戦争法廃止の「国民連合政府」の実現に向けて共同の輪を広げる世論を喚起するうえで重要な取り組みとなります。また、参議院選挙の勝利・躍進を勝ちとるうえで決定的ともいえる時期での演説会となります。

弁士は、党衆議院12区国会事務所長の菅原誠氏、党道国政相談室長の森つねと氏、紙智子参議院議員です。衆参ダブル選挙がおこなわれる可能性があるもとの演説会ですから多くのみなさんに参加していただきたいと思えます。会場が北見市なので車に乗り合わせての移動となりますが宜しくお願い致します。

紙参議院議員からは、国会でTPP問題でどんな事態が起きているのかについても分かりやすく話されると思えます。

お知らせ

「ストッpsの会」5月の行動予定

- 14日（土） 14時～15時まで
コープさつぽろ店前にて署名行動
- 21日（土） 11時～駒場ベーシック店前歩道
宣伝・署名行動
11時25分からエコーセンター前歩道にて宣伝・署名行動
- 22日（日） 地域署名10時～11時
（9時45分球場横駐車場集合）
- 28日（土） 地域署名14時～15時
（13時45分球場横駐車場集合）



流水

5月3日網走でひらかれた「憲法を読む会」に参加した帰り途でアツくなる。▼草案には「公共の福祉」に代わって「公益及び公の秩序」という言葉が何度も出てくる。沖縄在住の政治学者ダグラス・ラムスの中学生向けに書かれた『戦争するってどんなこと』には「人権に反する『秩序』が存在していた南アのアパルトヘイトやアメリカの黒人隔離政策は合法で『公の秩序』そのもの」とある。▼憲法を読む会では現憲法と自民党の改憲草案の読み比べもしました。「9条戦争放棄」を変え、軍の保持を明記し、「緊急事態」条項を新設。個人の尊重や国際平和など憲法理念が削られた前文に呼応して現憲法の97条「基本的人権の本質」が全面削除され、権力者ではなく「国民が憲法尊重擁護義務」とすり替えられている。▼憲法を読む会のチラシに「憲法を改正してひとたび軍隊をもつてしまったら、もう元には戻れません。軍需産業がすそ野まで広がり、日本の技術力は世界一の殺人兵器を作り、世界の子ども達を殺す道具を大量に作る。私達の税金で。税金という形で私達は殺人に担させられる」とある。憲法塾の伊藤真氏の言葉。▼夏の参院選まであと2カ月。争点は憲法の行方。「明日の日本を決めるのは私達」です。（た）